

平成30年度第2回筑邦市民センター多目的棟管理運営委員会議事概要

平成30年12月18日(火) 15:00~15:40
筑邦市民センター多目的棟会議室

出席委員 原口委員、佐藤委員、松尾委員、野口委員、中島委員、山口委員、
大石委員、下川委員、樋口委員、以上9名

欠席委員 岡山委員、田川委員、堀口委員、以上3名

事務局出席者 市民センター担当次長 吉田
筑邦市民センター所長 中島
課長補佐 寺嶋
事務主査 鬼塚
多目的棟館長 小野

傍聴者 なし

1. 開会

2. 事務局職員紹介

3. 委員長挨拶

4. 議 題

(1) 多目的棟施設利用状況について(平成30年4月~9月)

事務局より、資料1ページの施設の利用状況(平成30年度中間報告)について説明。

- ・施設毎利用状況は平成19年に管理運営の委託を受けて以降、施設利用者数は右肩上がりだったがここ数年は横ばい状況にある。
- ・月別利用状況は、ホール利用者数が多い月は会議室利用数も多くなっている。ホール利用者が控え室に会議室を使うなど併せての利用が多いためだ。
- ・図書室は毎年7、8月の夏休みの利用が多い、この時期にイベントも多く開催し更なる利用者拡大を図っている。おかげさまで毎年、本の貸出し数は倍以上の蔵書がある他の地域館より筑邦の方が多くなっている。

(A 委員)

利用促進については、何か対策は考えているか？

(事務局)

部屋毎の特長を活かしながら利用促進を考えている。

具体的には、ホール・体育館では、中高年向けに身体に関する事業。図書室では、乳幼児と保護者向けにクリスマスイベントなどの事業を考えている。詳細については、(2) 自主事業の取り組みについての項目で説明する。

(B 委員)

団体活動室の利用率増が突出しているのはなぜか？

(事務局)

団体活動室は印刷機を併設しているので、団体が打ち合わせを行いながら利用することが多くなったと思われる。

(B 委員)

休日のイベント等で利用が多い場合、車を止められないことがあるようなので駐車場の確保を検討してほしい。

(事務局)

通常は十分足りているが休日の大きなイベント等のときは民間駐車場を借りている。時間帯により足りないこともあるかもしれないが、お客様に不便をかけないよう可能な限り確保に努めたい。

(2) 自主事業の取り組みについて

事務局より、資料 2～6 ページの平成 30 年度筑邦市民センター多目的棟自主事業報告書(4月～9月)、平成 30 年度筑邦市民センター多目的棟自主事業計画について説明。

- ・参加者にアンケートを取りながら毎年継続的に実施する事業、新規事業を実施している。今年の上半期は約 30 種類 220 回の自主事業を実施した。
- ・多くの方に参加いただけるよう、広報誌やブログ、チラシ、リーフレット等を工夫して広報に更に力を入れていく。

(事務局) 補足説明

- ・施設利用促進については、図書室の利用から貸し館等に興味を持っていただくような仕組み作りも目指している。
- ・毎年いくつかの新規事業を市と協議しながら実施しているが、毎回のアンケート結果を参考に不人気だったものについては原因を分析し次年度の事業の内容充実に努めている。また、耳納多目的棟とも協議しながら地域の特性も考慮し、今の社会状況にマッチした事業を企画実施している。広報については、校区コミセンにご協力をいただきパンフレットの設置、行政棟には多目的棟コーナーを設けるなど地域の方々に広く知っていただくよう努めている。

(3) その他

事務局より、次回開催の案内（平成31年6月頃）。

5. 閉会